

新しい活性化計画の策定に当たっての留意点について

1 活性化計画の簡素化

本計画に掲げる取組は、地区住民と行政とが協働して進めていく必要があり、計画の内容等について全住民に十分に理解してもらう必要がある。

このため、住民にとって分かりやすいものになるよう、簡素化し、内容はシンプルに、文字はあまり多くせず、大きい文字で記載することとする。

また、住民の外国人の比率が高いことから（22.2%）、外国語（英語、中国語）への翻訳版を併せて作成する。

2 新しい活性化計画に掲載する取組

現行の活性化計画では、掲載されている取組数が188とかなり多く、また、アイデアレベルで具体性のないものもあり、活動の担い手が不足する中、取組に着手できていないものも多く見られた。

このため、新しい計画は実効性のあるものにするため、「選択と集中」により掲載する事業を絞ることとする。

3 目標の設定

実効性を高めるため、重点項目の取組のうち、特に高い効果が期待できるものについては、「重点取組」として位置付け、目標数値や実施時期等具体的な目標を設定する。

4 取組における役割分担の明確化

実効性を高めるため、重点取組については、実施主体の役割を明確にする。

5 計画策定後の推進体制

活性化計画が実効的に機能するために、本計画に掲げた各取組の進捗状況の把握や取組の効果検証など、計画の進行管理を行うため、地区住民の代表者及び広島市の関係課職員などで構成する「(仮称)基町地区活性化計画推進協議会」を設置し、年1回以上開催する。